

研修折り返し地点の7日目を迎えました。今日は学校での授業では無く、終日外に出かけての見学研修の日です。朝から天気は曇り空、気温も低く肌寒いですが、時間通りに全員が集合するとまずはゴールドコーストのサーファーズパラダイスに出かけました。

雨が降らないことを願いましたが、結果的には1日を通して雨に降られることはなく、また気温も上がり過ごしやすい一日でした。学校からバスで約40分移動すると、真っ白な砂とグリーンの美しい海が目飛び込んできて、生徒のテンションも一気に上がっていたようです。既にファミリーと来たことのある生徒も少なくありませんでしたが、仲間と一緒に来たことで盛り上がり、楽しむ姿は微笑ましいものでした。

Cassandra先生からゴールドコーストに対して簡単なレクチャーもありました。「ここがまだ未開の地であったら、あなたはここに何をやるか?」「オーストラリアのその他の地域同様、ここに農場ができるか?」「ゴールドコーストの開発に投資し発展させた国はどこか? (←日本)」「この市街地の中に住居としては世界で最も高層の建物があるが、それはどの建物か?」など、投げかけられました。まだまだ全体の中で声を発するのは苦手な様子です。先生の英語が理解できている生徒も少なくないと思いますが、発言をためらうことはチャンスを逸することと同義です。多くの生徒が掲げる「積極的になる」という言葉だけが独り歩きすることがないように、しっかり自分の現状を見つめながら研修に取り組んで欲しいことを、この後バスの中で伝えました。

ビーチで時間を取った後は、そのままそこに残ってアクティビティをするグループとショッピングに行くグループに別れて1時間ほど過ごし、その後ランチを取ってクイーンズランド大学に向け出発しました。

クイーンズランド大学はオーストラリアで最も長い歴史を持ち、同国内でもトップクラスの学生がここで学んでいます。大学に到着すると、その日本とは全く違うキャンパスの広さと美しさに生徒達は驚いている様子でした。

ここではクイーンズランド大学の学生3名が郡高生のために来てくれて、3つのグループに別れてキャンパスツアーを実施しました。広大な公園さながらに芝生が敷き詰められたヤードと、モダンと伝統のミックスされた建物、そしてこの日は‘マーケットデイ’ということで、同大学で600以上もあるというクラブチームが勧誘のためにブースを構え多くの学生でキャンパス内は賑わっていました。生徒達は大学生にただついていだけでなく、しっかりコミュニケーションを取りながらキャンパスツアーを楽しんでいたようです。受身にならず自分たちで研修を作っていく姿勢を感じることができました。

キャンパスツアーの後は、同じく敷地内にある「Global Change Institute (GCI)」を訪問しました。GCIは地球温暖化など世界が抱える環境問題に対する解決策をクイーンズランド大学の学生を中心に研究している団体です。GCIの建物はエアコンがなく、電力は自然エネルギー（太陽光発電）、水も雨水を蓄えることで館内の冷却や水道も賄われています。室温は全て自動で管理され、一定以上の温度になると各所空調のための窓が自動で開き空気の流れをよくしたり、冷却した外気を館内に送ることでクールダウンします。また透明で採光の役割を果たす屋根にも工夫があり、気温が上がると太陽光の入り込みを少なくする仕掛けが施してあります。足元のコンクリートも熱を溜めない特殊なものが使われているとのことでした。館内は自然な空気感で満ちており、何とも言えない居心地の良さを感じます。エアコンを使わない自然な空調の効果かと思われました。あらゆる環境技術を導入した、「世界で唯一」の施設に触れる貴重な機会となりました。

明日は午前中に英語レッスンを受けた後、カランビン動物保護区を訪問します。研修も後半、生徒達にはさらに全力で取り組んでもらえるよう後押ししていきます。以上、研修7日目の報告と致します。



《 Cassandra 先生のサーファーズパラダイス解説 》





《 サーファーズパラダイス 》



《 クイーンズランド大学キャンパスツアー 》



《 クイーンズランド大学キャンパスツアー 》



《 Global Change Institute 訪問 》